



◆岩永 義仁 議員

# 年末の打ち上げ花火は

## 町長 コロナ禍での癒やし

町は、住民のコロナ疲れを癒やすことを目的に「希望のヒカリ事業」として総予算1750万円を計上し、花火を打ち上げた。

**問** 15分間の打ち上げ花火を行ったが、感染症対策事業として適切であったか。

**答** 花火を見た町民からは好評だった。一定の評価を得たと考える。

**問** クラウドファンディングを募り、募金額115万円に達して寄付額30万9千円で不調に終わった。また、コロナ対策で企業に負担を強いるのは趣旨に反しないか。

**答** クラウドファンディングと一般分を合わせ600万円以上の寄付を頂けた。コロナ禍の厳しい中で寄付に感謝している。

**問** 養老公園に寄付者を集めてステージイベントが実施された。多くの町民には秘密だった。結局は一部の人のために多額の予算が使われたのではないか。

**答** 町民の皆様にはサプライズで観覧いただき、多くの方に希望を感じ取ってもらえたと考えます。

**問** 当日の広報が流れるまで、花火の打ち上げを秘密にしていた。議会でも説明はなかった。町民への告知方法は適切であったか。

**答** 3密対策で寄付者、近隣住民、耕作者等に事前告知を行った。

**問** 養老公園に寄付者だけを集めてステージイベントが実施された。多くの町民には秘密だった。結局は一部の人のために多額の予算が使われたのではないか。

**答** 町民の皆様にはサプライズで観覧いただき、多くの方に希望を感じ取ってもらえたと考えます。

※クラウドファンディングとはインターネット上で発信者の想いに共感し、応援したいという人から寄付を集める行為。

養老改元1300年祭を契機に我が町へのふるさと納税額が飛躍的に増加している。その返礼品の90%以上を占める食肉産業は重要な産業の一つである。

**問** 現施設への支出増加の見直しは。

**答** 施設・機械の老朽化による修繕費が増加傾向ではあるが建物や大型設備の更新を行う考えはない。豚熱やコロナによる使用料の減少分は徐々に戻りつつある。

**問** 新食肉基幹市場建設の進捗状況は。

**答** 岐阜県食肉基幹市場建設促進協議会に於いて、令和2年3月に「県内の場合には統合による新設が必要」との認識が再確認されたが、コロナの影響で会議が開けず予定より遅れている。令和3年度にコンソーシアムを立ち上げ施設整備計画を立てていく予定。課題は施設の規模と建設費用の分担である。新年度には庁内に食肉基幹市場建設推進室を

# 食肉事業センターの将来は

## 町長 維持しながら新施設を早く



◆北倉 義博 議員

※コンソーシアムとは2つ以上の個人、企業、団体が政府から成る団体

ふるさと納税返礼品で選ばれている食肉製品の割合

年度	2017年	2018年	2019年	2020年※
寄附額 合計	109,330	238,584	547,617	961,087
食肉製品返礼品を選択した寄附額	103,694	229,438	509,702	889,804
割合	94.84%	96.17%	93.08%	92.58%

※2020年4月～2021年1月末

設置し持続可能な規模の調査、県内市町村の負担への理解を働きかける。また、新施設が町に与える経済波及効果を算定し、町民の理解を得られるように進める。

# ワクチンの副反応、安全性は

## 町長 町広報・HP・チラシ等で周知



◆清水由美子 議員

町民プールの一時休館が発表された。屋根の修繕等による起債（借金）が令和15年度まで10年以上残っている施設である。

**問** 休館に至った経緯は。

**答** 町民アンケート、パブリックコメントを1月にまとめ、2月に行財政改革推進審議会から「プールは廃止、その他は別施設へ統合廃止を検討」という答申を受け一時休館が決まった。教育委員会からは老朽化する学校プールの代わりに町民プールを活用する提案をしていた。

**問** 利用者の代替施設への案内や、民間施設を利用する場合の差額に対する補助の考えは。

**答** プールは海津市のプールや民間施設へ案内。ヨガやエアロビは他施設での開催を検討。民間施設利用時の差額補助は検討なし。

**問** 利用者の代替施設への案内や、民間施設を利用する場合の差額に対する補助の考えは。

**答** プールは海津市のプールや民間施設へ案内。ヨガやエアロビは他施設での開催を検討。民間施設利用時の差額補助は検討なし。



町民プール存続のため署名をする住民

**問** アンケートの回答者で継続的な利用者約5%だけ。町民プール利用者のアンケートを実施する考えはないか。

**答** 利用者アンケートは実施しない。

**問** このままでは何も町にならなってしまう。夏だけでもプールを運営できないか。

**答** コスト的に難しい。

第4波も予想されるコロナ感染。新しいワクチンへの不安、接種有無でのハラスメント対策を問う。誰でもできる感染対策も提言。

**問** コロナ感染者、現時点での入院治療者数と第4波に向けて、県や国へ医療体制の要望は。

**答** 46名退院し、現在4名入院（3月18日時点）。引き続き、郡医師会・県等と情報を常に共有し、迅速に対応していく。

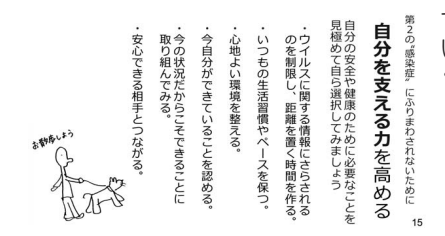
**問** ワクチンの副反応、安全性、有効性等の情報提供と町庁舎設置の相談窓口対応は。

**答** 首相官邸や厚生労働省のHPの情報等を町広報・町HP等で周知。町相談窓口は、予約業務の補助。

**問** 接種ができない、しない方へのコロナハラスメント対策は。

※HPホームページ

不安にふりまわされないために日本赤十字社より



不安にふりまわされないために日本赤十字社より